

備前市施策評価シート

(平成21年度事業)

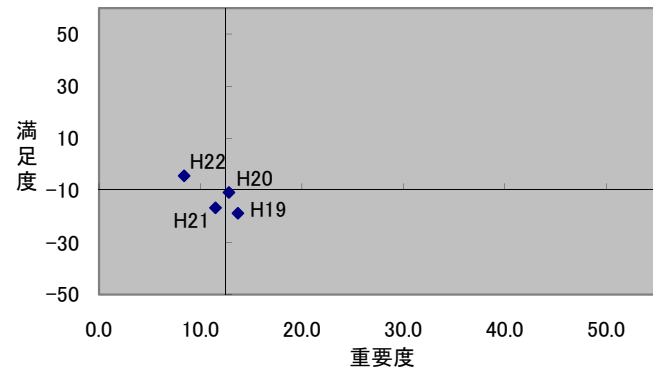
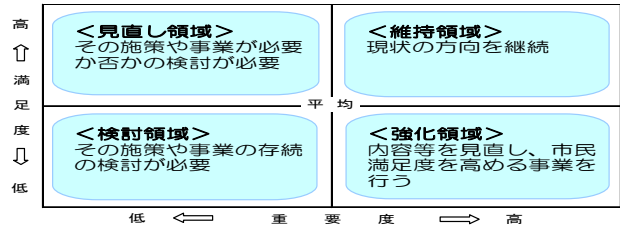
施策名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	01-03-01	作成者	役職 都市整備課長 氏名 高橋昌弘 電話 64-1833
		このシート作成に要した時間		2.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民を災害から守り、安全で安心して暮らせるよう、河川改修等を計画的、継続的に実施していく	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮により大災害を受けましたが、国・県・市及び地域住民が一体となって災害復旧に取り組み、一定の成果をあげることが出来ました。しかし、まだ多くの箇所が自然護岸や老朽石積等が未整備であることから、今後、国・県の協力を得て、計画的な河川整備を図り、再び災害を受けることのないよう万全の対策をとることが必要である。また、急傾斜地や土石流危険渓流のうち、法の未指定地については新たに区域指定を受け、整備する必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川については、年次的な改修を県に要望していく。 市管理河川の年次的・計画的な整備促進 急傾斜地崩壊対策事業については、県事業として整備が進められているが整備済みの箇所でも老朽化に伴う改修が必要な箇所もあることから、危険度の高い箇所から対策工事などの実施を県に要望する。 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	13.7	12.8	11.5	8.4
満足度(%)	-18.8	-10.8	-16.7	-4.4



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民要望に十分対処できていないため、この数字は止むを得ないと思う。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21		H22	H28
成果指標 河川改良率	目標	箇所	20	20	20	H22	20
	実績	箇所	13	12	8	H23	20
	達成率	%	65.0	60.0	40.0	H28	20
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 市民からの要望への対応 (修繕箇所数)	目標	箇所	60	60	60	H22	60
	実績	箇所	30	40	43	H23	60
	達成率	%	50.0	66.7	71.7	H28	60
	ベンチマーク					-	-
参考指標② ボランティア参加団体数 (道路の指標と重複)	目標	回	130	160	180	H22	180
	実績	回	151	185	195	H23	180
	達成率	%	116.2	115.6	108.3	H28	200
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H22	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									経費の性質	
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 県河川維持管理事業	C	樋門等管理委託事務	補助	434			435	108	0.01	435	169	0.02	★★★★★	義務的 経費の性質 その他
		吉井川下流改修促進協会負担金	単市	29	858	0.09	29			29	0	0.00	★★★	その他
		ダム所在市町村全国協議会負担金	単市	15			5	17		5	0	0.00	★★	その他
		河川維持管理要望事務	単市	0			8	227	0.02	0	311	0.03	★★★★★	人件費のみ
2 河川改良事業	B	河川改良事業	補助	21,491	3,030	0.51	47,103	7,289	1.22	17,655	5,344	0.84	★★★★★	経常的
3 河川維持管理事業	B	河川維持管理事業	単市	7,893	3,203	0.43	23,156	1,625	0.23	10,356	1,960	0.26	★★★★★	経常的
4 急傾斜地崩壊対策事業	C	急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金	単市	0	1,062	0.13	0	0	0.00	0	93	0.01	★★★	義務的
		急傾斜地崩壊対策事業要望事務	単市	0			0	263	0.02	0	0	0.00	★★★	人件費のみ
5 災害復旧事業		災害復旧事業	法定	7,849	1,397	0.25				11,160	1,856	0.34	★★★★★	義務的
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				37,711	9,550	1.41	70,736	9,529	1.50	39,640	9,733	1.50		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県・市	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効果が発揮できコストも縮減できる

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	河川改修を進めていくうえで、改修率の指標は妥当。修繕要望に対する実施率は維持管理上必要であり妥当。ボランティア活動により維持管理費が節減できている。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね妥当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	目標達成は厳しいが、市民からの数ある要望を少しでもこなし災害に強いまちづくりを勧めるのに有効。	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に整備する。溢水、破堤など危険箇所の局所改修及び河川浚渫を優先的に実施する。	
翌年度(H23年度)取組目標		ボランティア団体数は年々増加している。今後は、吉永地域・日生地域の増加を図るとともに、市民との協働による適正な維持管理を進めていく。	
二次評価者コメント		役職 産業部長 氏名 竹林 幸一 防災面からの計画的かつ継続的な施設改修を促進するとともに、地区要望の多い河川浚渫など適正な維持管理と環境保全に努めてください。	
		基本施策への貢献度 4 やや高い	